

会 告

第 95 回 日本繁殖生物学会大会開催要領

第 95 回日本繁殖生物学会大会を下記の要領で開催いたします。

本大会では一般講演（185 題：口頭発表；138 題、ポスター発表；47 題）の他に、「ヒトと動物の共生を考える」を目的とした【いきている馬，これからの馬】と題して公開講演会を開催する予定です。また，サテライトシンポジウム【動物繁殖産業に係わって】，およびジョイントシンポジウム【雌牛の繁殖障害の診断と治療】（日本家畜臨床学会との共催）やワークショップを 2 題，【北海道・東北の野生動物たち】と【卵胞の発育と黄体機能】を用意したいと考えています。さらに，Professor Dr. William W. Thatcher（University of Florida）による特別講演【Principles of Reproduction That Can be Applied to the High Producing Herds of Japan to Maximize Reproductive Efficiency】を開催致します。なお，製薬会社における動物繁殖の研究活動との交流を目的に，ランチョンセミナーを開催します。

皆さまのご来盛をこころからお待ち申し上げます。

記

1. 期 日 2002 年 9 月 13 日（金） 一般講演，評議員会，ジョイントシンポジウム，
ワークショップ I，ポスターセッション，
第 3 回若手企画シンポジウム
14 日（土） 一般講演，サテライトシンポジウム，ワークショップ II，
ランチョンセミナー，ポスターセッション
15 日（日） 一般講演，総会，受賞者講演，特別講演，
ランチョンセミナー，公開講演会
2. 会 場 岩手大学人文社会学部
〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8

盛岡市民文化ホール（公開講演会）
3. 会 長 岩手大学農学部 三宅 陽一
4. 連 絡 先 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8
岩手大学 農学部 第 95 回日本繁殖生物学会 大会事務局
（三宅陽一） TEL: 019-621-6236 FAX: 019-621-6277 email: miyake@iwate-u.ac.jp
（高橋寿太郎） TEL: 019-621-6159 FAX: 019-621-6162 email: jutaro@iwate-u.ac.jp
（橋爪 力） TEL & FAX: 019-621-6161 email: hashi@iwate-u.ac.jp
（松原和衛） TEL: 019-621-6160 FAX: 019-621-6162 email: kazuei@iwate-u.ac.jp
（大澤健司） TEL & FAX: 019-621-6278 email: osawa@iwate-u.ac.jp

5. 大会参加費および講演要旨集代金

(1)大会参加費

正 会 員	4,000 円
学生会員	2,000 円
非 会 員	5,000 円

(2)講演要旨集

正 会 員	1,000 円
非 会 員	1,500 円

大会参加費および講演要旨集代金は、当日会場の参加受付でお支払い下さい。

6. 一般講演 本大会では、スライドプロジェクターもしくはOHPによる口頭発表と、ポスター発表を行います。発表の日時などは、ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsar/index-j.html>) で必ず確認して下さい。

1)口頭発表

- (1) 講演時間は、発表7分、討論2分、計9分です。演者は時間厳守をお願いします。座長の方には時間内に討論まで終了するようご配慮願います。
- (2) 講演会場には、35 mm スライドプロジェクターならびに OHP を各1台準備しますので、どちらか一方を使用して下さい。
- (3) 発表の30分前までに、演者ならびに座長の方は各会場前の発表受付で来場の確認を行って下さい。
- (4) スライド発表を希望される方は、発表の30分前までに各自でスライドをホルダーに入れて、試写用プロジェクターで確認の上、発表受付にお預け下さい。
- (5) OHP は発表者側で操作して下さい。
- (6) 演者は、前演者の登壇とともに次演者席にお着き下さい。
- (7) 座長の方は、担当時間の10分前までに次座長席にお着き下さい。

2)ポスター発表

- (1) ポスターのサイズは、横90 cm、縦180 cmです。
- (2) 演者は9月13日、または9月14日 8時30分～11時00分の間に、ポスターを貼って下さい。
また、発表したポスターは、9月13日、または9月14日 17時50分以降に必ず撤去して下さい。
- (3) 演者は質疑応答の時間(9月13日、または9月14日 16時10分～17時50分)の間は各自のポスターの前で待機して下さい。

7. シンポジウム，ワークショップ，ならびに特別講演

第95回大会では，下記のシンポジウム，ワークショップ，ならびに特別講演を行います。
多数のご参加をお待ちしています。

○ ジョイントシンポジウム【雌牛の繁殖障害の診断と治療】（日本家畜臨床学会との共催）

日 時：9月13日（金） 13:00-16:00

会 場：第1会場

コーディネーター：大澤 健司（岩手大学）・金田 義宏（日本家畜臨床学会会長）

従来から，畜産分野の研究者からは，臨床繁殖分野における問題点，到達点，さらには将来展望について話を聞く機会があれば，との声がありました。そこで，今回，繁殖生物研究の柱の一つである，臨床繁殖上の現状の理解を深めることを目的に，日本家畜臨床学会との共催により，ジョイントシンポジウム【雌牛の繁殖障害の診断と治療】を計画致しました。

このシンポジウムでは，「繁殖障害の実態と問題点」を明らかにしたのち，現在精力的に進められている「代謝プロファイルテストからみた繁殖障害」から更に解決すべき課題を求めたいと考えています。また，「繁殖障害の病態から学ぶもの」では，全ての繁殖障害を取り上げることはせず特定の繁殖障害の病態から，今後進められるべき研究課題を示していただきながら，病態を正確に認識することから研究が始まることを明らかにしたいと考えています。さらに，「発情同期化法の過去・現在・未来」から繁殖管理の現状と問題点が浮かび上がってくることを期待して開催するものです。

13:00-13:10	開会の辞 話題提供者の紹介	
13:15-13:45	繁殖障害の実態と問題点	小野 斉先生（ジェネティクス北海道）
13:50-14:20	代謝プロファイルテストからみた繁殖障害	木田 克弥先生（北海道 NOSAI 研修所）
14:25-14:55	繁殖障害の病態から学ぶもの	加茂前 秀夫先生（東京農工大学）
15:00-15:30	発情同期化法の過去・現在・未来	中尾 敏彦先生（広島大学）
15:35-16:00	総合討論 閉会の辞	

○ サテライト シンポジウム【動物繁殖産業に係わって】

日 時：9月14日（土） 13:00-16:00

会 場：第1会場

コーディネーター：高橋 寿太郎（岩手大学）・佐々木 捷彦（家畜改良事業団）

今日，動物の生殖に係わる研究は，大学や国公立試験機関の繁殖関係の研究室のみならず，大学外の社団法人や民間企業においても精力的に進められ，貴重な成果を挙げています。しかし，これらの成果は普段目にするのが少なく，折角の成果が活用されていないように思われます。幸い，北海道・東北地方には動物の繁殖に係わる社団法人や民間企業が比較的多く，日頃から生殖の応用研究を進めているところです。そこで，今回，繁殖生物研究の柱の一つである生殖の応用研究に関する研究活動の現状の理解を深めることを目的に，サテライト シンポジウム【動物繁殖産業に係わって】を計画致しました。

13:00-13:10	開会の辞 話題提供者の紹介
13:15-13:45	無血清培養法によるウシ体外受精卵生産と胚の品質評価法 阿部 宏之先生((株)機能性ペプチド研究所)
13:50-14:20	ウシ凍結精液の技術開発よっての成果 高宮 武夫先生(家畜改良事業団 盛岡種雄牛センター)
14:25-14:55	ウシ胚の効率的生産とウシ胚移植の受胎率向上 武富 敏郎先生(全国農業協同組合連合会 ETセンター)
15:00-15:30	ウシ胚移植の経済性の現状と展望 後藤 太一先生(イーハトーブ・ブリーディング・サービス)
15:35-16:00	総合討論 閉会の辞

○ワークショップ I 【北海道・東北の野生動物たち】

日 時：9月13日(金) 13:00-16:00

会 場：第II会場

コーディネーター：松原 和衛(岩手大学)・坪田 敏男(岐阜大学)

現在、「動物との共生」を通してQOL(「生活の質の向上」)を考えることが求められていることを踏まえ、本大会が岩手県で開催されることを契機に、【北海道・東北の野生動物たち】と題したワークショップを計画しました。幸い、岩手大学、および北海道・東北地方では多くの研究者によってこのテーマが従来から取り上げられ、研究されてきています。そこで、今回、繁殖生物研究の柱の一つである、野生動物研究の現状の理解を深めることを目的に、ワークショップを計画致しました。

13:00-13:10	開会の辞 話題提供者の紹介
13:15-13:45	里山の猛禽類、サシバの生態と生息地の保全 東 淳樹先生(岩手大学)
13:50-14:20	北海道石狩低地帯で発見されたヒグマのコリドーとその保全 青井 俊樹先生(岩手大学)
14:25-14:55	ニホンカモシカ保全の現段階と課題 三浦 慎悟先生(森林総合研究所東北支所)
15:00-15:30	動物園における種保存 小松 守先生(秋田市大森山動物園)
15:35-16:00	総合討論 閉会の辞

○ワークショップ II 【卵胞の発育と黄体機能】

日 時：9月14日(土) 13:00-16:00

会 場：第II会場

コーディネーター：橋爪 力(岩手大学)・鈴木 裕之(弘前大学)

現在、生殖工学の発展に見られるように、動物の生殖機能を人為的に調節する技術は家畜の生産性の向上や人を含む動物の高度不妊療法を可能にしています。これらの応用的な研究を支えているのは、生殖分野において近年、活発に進められている基礎研究であることは明らかです。そこで、今回、応用的な研究活動の基礎となっている研究成果、とくに発情周期の卵巣におけ

る卵胞の発育や精緻な装置から見いだされつつある黄体の機能の解明に焦点をあわせて、繁殖生物研究の柱の一つである、「卵巣の機能」を改めて取り上げ、理解を深めることを目的に、ワークショップを計画致しました。

13:00-13:10	開会の辞 話題提供者の紹介	
13:15-13:45	血管網からみる卵胞発育・閉鎖、排卵及び黄体化	佐藤 英明先生（東北大学）
13:50-14:20	ミクロの卵胞発達 卵母細胞の発育	宮野 隆先生（神戸大学）
14:25-14:55	排卵と黄体形成：血管による卵巣機能制御	宮本 明夫先生（帯広畜産大学）
15:00-15:30	黄体退行の制御：子宮内膜のPGF ₂ α分泌調節機構	奥田 潔先生（岡山大学）
15:35-16:00	総合討論 閉会の辞	

○ 特別講演

【Principles of Reproduction That Can be Applied to the High Producing Herds of Japan to Maximize Reproductive Efficiency】

日 時：9月15日（日） 10:15-12:00

会 場：第III会場

演 者：Professor Dr. Thatcher William W.

University of Florida, Animal Science Department, USA

8. 第3回若手企画シンポジウム

日 時：9月13日（金） 18:00-20:00

会 場：第 会場（岩手大学生協中央食堂）

会 費：1,000円，ただし学生は無料

コーディネーター：東村博子（名大院・生命農学）若手奨励策検討委員会委員長

本企画は若手研究者同士の交流や若手研究者のエンカレッジメントを大きな目的としています。今年の企画では、いろいろな分野および世代の話題提供者の方々から研究や生き方についてのメッセージを頂き、座談会形式で若手研究者の人たちと意見交換をする予定です。フロアーの方も含めた参加者全員が主役になれるシンポジウムを目指します。たくさんの若手研究者の方々にご出席いただけますようお願い申し上げます。もちろん気分は若手研究者の方、昔は若手研究者の方のご出席も大歓迎です。

テーマ：「研究で自己表現したい若者へのエール」

話題提供および座談会参加者：

舘 鄰さん（三菱生命研）

「若手研究者のより輝かしい未来のために - 現・前・元若手研究者からの提言 - 」

平尾雄二さん（独）農業技術研究機構）

「人は研究者に生まれるのではない。研究者になるのだ。」

汾陽光盛さん（北里大・獣医畜産）

「私が自分を研究者と呼んでもいいかなと思う時に拠り所にする小さな理由」

川口真以子さん（（独）国立環境研）

木下美香さん（名大院・生命農学）

米澤智洋さん（東大院・農学生命科学）

本シンポジウムでは、軽食と飲み物を準備する予定です。

コーディネーター：東村博子（名大院・生命農学）若手奨励策検討委員会委員長

企画立案：東村博子，今川和彦，大蔵 聡，田中知己，野口純子，本道栄一，宮本明夫，大澤健司，川口真以子，木下美香，米澤智洋

9. 総会および受賞者講演

1) 総会

日 時：9月15日（日） 13:00-15:00 会 場：第III会場

2) 受賞者講演

日 時：9月15日（日） 15:00-17:00 会 場：第III会場

(1) 2002年日本繁殖生物学会賞・学術賞授賞講演

1. 「ラットにおける下垂体後葉ホルモンの分泌調節機構に関する研究」

本田 和正 会員（福井医科大学）

2. 「繁殖生理学におけるリラキシンの意義とその応用に関する研究」

高坂 哲也 会員（静岡大学）

3. 「ウシならびにウマにおける卵子・胚の凍結保存に関する研究」

保地 眞一 会員（信州大学）

(2) 2002年日本繁殖生物学会賞・技術賞授賞講演

1. 「栃木県における黒毛和種凍結胚移植技術の開発と普及」

西貝 正彦 会員（（有）那須ET研究所）

10. ランチョンセミナー

本大会は、生殖に係わる基礎的分野、および応用分野の研究者が一同に会して研究成果を公表するとともに、一つのテーマを取り上げてそれを深め、互いの共通理解を持つことの出来る場ともなっています。

今日、動物の生殖に係わる研究は、大学の繁殖関係の研究室のみならず、大学外の民間企業においても精力的に進められ、貴重な成果を挙げています。しかし、これらの成果は普段に目にすることが少なく、折角の成果が活用されていないように思われます。そこで、今回、我が国の製薬会社における動物繁殖の研究活動との交流を目的に、【ランチョンセミナー】を計画致しました。

ランチョンセミナー 1

日 時：9月14日（土） 12:00-13:00 会 場：第 会場

担 当：武田シェリング・プラウアニマルヘルス株式会社

話 題：「繁殖用ホルモン剤について」

演 者：植田 祐二先生（武田シェリング・プラウアニマルヘルス（株）マーケティング部）

ランチョンセミナー 2

日 時：9月14日(土) 12:00-13:00 会 場：第 会場
担 当：帝国臓器製薬株式会社
話 題：「前立腺肥大症犬におけるホルモン動態とアンチアンドロゲン剤
(酢酸オサテロン)の薬理作用について」
演 者：本間 誠次朗先生((株)帝国臓器製薬メディカル)

ランチョンセミナー 3

日 時：9月15日(日) 12:00-13:00 会 場：第 会場
担 当：ファルマシア株式会社 アップジョンアニマルヘルス事業部
話 題1：「乳牛の受胎成績向上のための繁殖プログラム 米国における経験から」
演 者：Professor Dr. William W. Thatcher
(University of Florida, Animal Science Department, USA)
話 題2：「発情周期の調整のための各種プログラムについて」
演 者：岩隈 昭裕先生(ファルマシア株式会社)

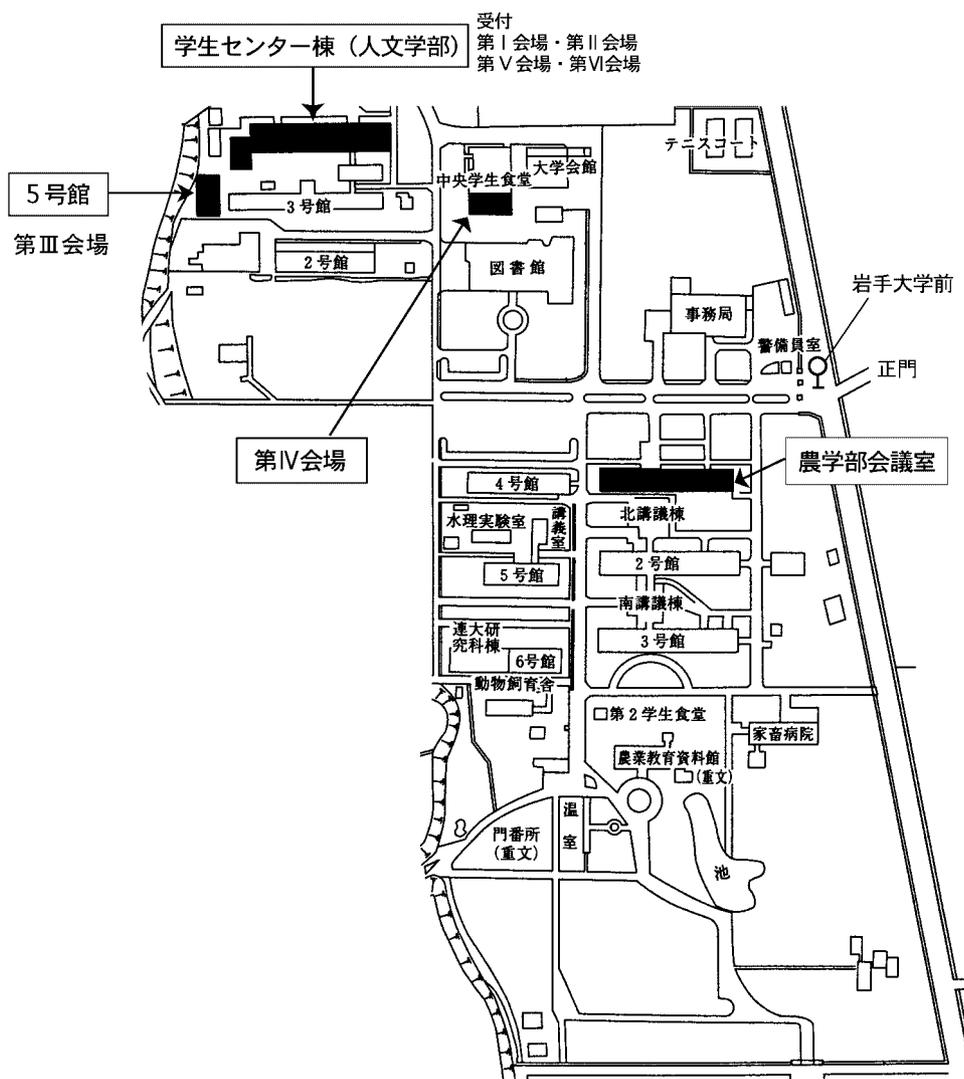
ランチョンセミナー 4

日 時：9月15日(日) 12:00-13:00 会 場：第 会場
担 当：第一製薬株式会社
話 題：「家畜繁殖に及ぼすパントテン酸Ca製剤の作用」
演 者：澤野 亮先生(第一製薬(株)特薬部)

11. 各種委員会開催予定

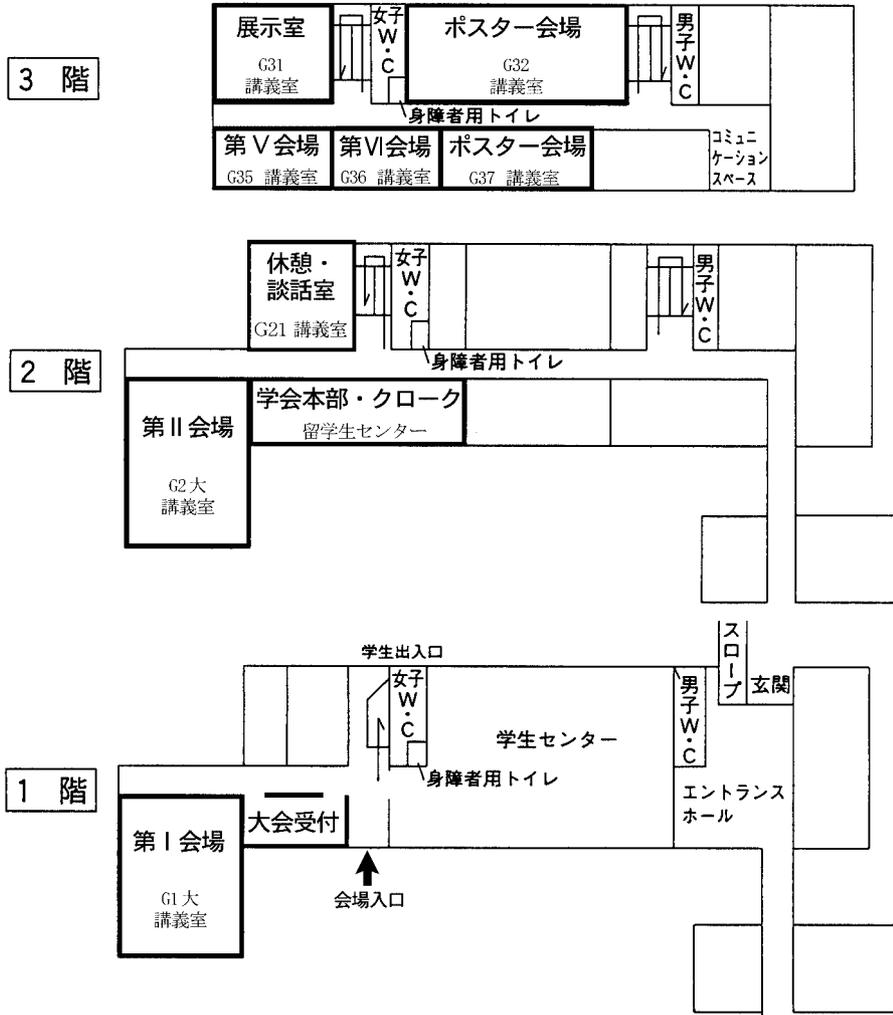
会議名	日	時 間	会 場
1. 理事会・理事候補者会	9月12日(木)	15:00 - 18:00	農学部会議室
2. 編集委員会	9月12日(木)	18:00 - 20:00	第一ホテル
3. 学会賞選考委員会	9月13日(金)	9:00 - 10:00	第 会場 (G35)
4. 学術集会等検討委員会	9月13日(金)	9:00 - 10:00	第 会場 (G36)
5. 評議員会	9月13日(金)	11:00 - 13:00	第 会場
6. 若手奨励策検討委員会	9月14日(土)	18:00 - 19:00	第 会場
7. 広報委員会	9月14日(土)	18:00 - 19:00	第 会場
8. 総会	9月15日(日)	13:00 - 15:00	第 会場

会場案内図

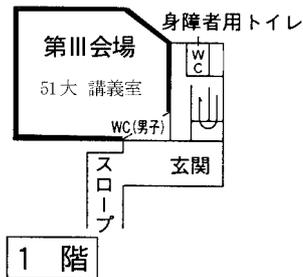


会場平面図

学生センター棟



5号館



13. 大会日程表

日付	時間	第Ⅰ会場 (G1大)	第Ⅱ会場 (G2大)	第Ⅲ会場 (51大)	ポスター会場 (G32,37)	第Ⅳ会場 (中央学生食堂)	盛岡市民 文化ホール	
9/13 (金)	08:00	参加受付開始						
	08:30	一般講演(口頭発表)				ポスター受付 貼り出し		
	11:00	IA-1 ~ IA-15	IIA-1 ~ IIA-15	IIIA-1 ~ IIIA-15				
	11:00	評議員会			ポスター 1 PB-1 ~ PB-14			
	13:00	ジョイントシンポジウム	ワークショップI					
	16:00	雌牛の繁殖障害の診断と治療	北海道・東北の野生動物たち					
	16:10	一般講演(口頭発表)				質疑・応答		
	17:50	IB-1 ~ IB-4	IIB-1 ~ IIB-4					
18:00					若手企画 シンポジウム			
20:00								
9/14 (土)	08:30	一般講演(口頭発表)				ポスター受付 貼り出し		
	12:00	IA-16 ~ IA-35	IIA-16 ~ IIA-35	IIIA-16 ~ IIIA-28 IIIB-1 ~ IIIB-8				
	12:00	ランチョンセミナー-1 (帝国臓器製薬)	ランチョンセミナー-2 (武田シエリングブラウ)		ポスター 2 PA-1 ~ PA-33 (優秀ポスター 賞応募発表)			
	13:00	サテライトシンポジウム	ワークショップII					
	16:00	動物繁殖産業に関わって	卵胞の発育と黄体機能					
16:10				質疑・応答				
17:50								
9/15 (日)	08:30	一般講演(口頭発表)						
	10:00	IB-5 ~ IB-13	IIB-5 ~ IIB-10	IIIB-9 ~ IIIB-17				
	10:15			特別講演				
	12:00							
	12:00	ランチョンセミナー-3 (ファルマシアアップジョン)	ランチョンセミナー-4 (第一製薬)					
	13:00				総 会			
	15:00							
15:00				受賞者講演				
17:00								
17:30						公開講演会		
20:00								

一般講演(口頭発表)の第 会場~第 会場の「A」番号は大会長賞応募発表

公開講演会【いきている馬，これからの馬】

21世紀は人類にとって，【生活の質の向上】を居住地域から考える事が求められています。岩手県は現在もなお，日本有数の馬産地であり，馬の生産のみならず，馬を主体とした文化が深く根づいている地域です。このような馬産地にあって少なからぬ獣医師や畜産関係者は馬の生殖に係わる研究や，技術援助，更には馬を中心とした地域づくりに貢献しています。この公開講演会では，【いきている馬，これからの馬】と題して，広く一般市民を対象に，【動物の生殖戦略の多様な姿を通して馬の持つ特有の繁殖戦略】，北海道の競走馬生産現場の獣医師から【サラブレッドの繁殖技術の経験と世界に誇るシャトル繁殖計画】，および【馬と人の暮らしの文化】に関して，分かりやすく解説し，質疑応答と討論によって，将来において馬，および馬の生産が人間生活にどのように係わる事が可能となるか，【生活の質の向上】を居住地域から考える上で馬が十分な役割を担うことが可能かなど，理解を深めることを目的として開催するものです。

日 時： 9月15日（日） 17:30 開場 18:00-20:00

会 場： 盛岡市民文化ホール（小ホール）

参 加： 無料

プログラム

- | | | |
|-------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 18:00-18:10 | 開会の挨拶 | 宮本 元
(日本繁殖生物学会理事長，京都大学大学院農学研究科教授) |
| | コーディネーター | 三宅 陽一
(第95回日本繁殖生物学会大会長，岩手大学農学部教授) |
| 18:10-18:35 | ウマとはどんな動物？ - ウマとウシ，ウマとネズミを比べる - | 高橋 迪雄先生
(東京大学名誉教授，味の素(株)健康基盤研究所) |
| 18:40-19:05 | 世界に誇るサラブレッド生産現場から，馬をみる | 角田 修男先生
(社台スタリオンステーション) |
| 19:10-19:35 | イーハトーブの馬と人 | 大矢 邦宣先生
(岩手県立博物館 首席専門学芸員) |
| 19:40-20:00 | 総合討論 閉会の辞 | |

第 95 回日本繁殖生物学会（岩手大学）

一般講演プログラム

本大会では、スライドプロジェクターもしくはOHPによる口頭発表と、ポスター発表を行います。

1) 口頭発表

- (1) 講演時間は、発表7分、討論2分、計9分です。演者は時間厳守をお願いします。座長の方には時間内に討論まで終了するようご配慮願います。
- (2) 講演会場には、35mmスライドプロジェクターならびにOHPを各1台準備しますので、どちらか一方を使用して下さい。
- (3) 発表の30分前までに、演者ならびに座長の方は各会場前の発表受付で来場の確認を行って下さい。
- (4) スライド発表を希望される方は、発表の30分前までに各自でスライドをホルダーに入れて、試写用プロジェクターで確認の上、発表受付にお預け下さい。
- (5) OHPは発表者側で操作して下さい。
- (6) 演者は、前演者の登壇とともに次演者席にお着き下さい。
- (7) 座長の方は、担当時間の10分前までに次座長席にお着き下さい。

2) ポスター発表

- (1) ポスターのサイズは、横90cm、縦180cmです。
- (2) 演者は9月13日、または9月14日 8時30分～11時00分の間に、ポスターを貼って下さい。また、発表したポスターは、9月13日、または9月14日 17時50分以降に必ず撤去して下さい。
- (3) 演者は質疑応答の時間（9月13日、または9月14日 16時10分～17時50分）の間は各自のポスターの前で待機して下さい。

第1日目 9月13日(金)

口頭発表

第1会場 8:30 ~ 11:00 演題番号 IA-1 ~ IA-15

- 8:30 ~ 9:20 胚発生Ⅰ 座長：高橋芳幸（北大・獣）
- IA-1 化学的組成の明らかな培地で体外受精・体外培養したブタ胚盤胞からの産子の作出
吉岡耕治, 鈴木千恵, 伊東正吾¹, 菊地和弘², 岩村祥吉（動衛研,¹麻布大,²生物研）
 - IA-2 体外発生培地へのアミノ酸及びBSA添加がブタ初期胚の体外発生に及ぼす影響
鈴木千恵, 吉岡耕治, 岩村祥吉（動衛研）
 - IA-3 体外受精ウシ胚の初期発生および細胞内過酸化状態に及ぼす暑熱ストレスの影響
阪谷美樹, 小林修一, 高橋昌志（独法・九州沖縄農業研究センター）
 - IA-4 ブタ体外受精胚の細胞質内脂肪滴除去による発生への影響
米田明弘, 鈴木啓太¹, 森 匡, 渡辺智正（北大院農,¹北大北方センター）
 - IA-5 体外培養されたハムスター胚における細胞骨格の変化
佐藤学, 鈴木裕之, 小原和久, 豊川好司（弘前大農学生命）
- 9:20 ~ 10:10 胚発生Ⅱ 座長：舘 鄰（麻布大・獣）
- IA-6 種々の方法により作出されたウシ初期胚の mRNA 発現量解析
澤井 健, 陰山聡一, 森安 悟, 平山博樹, 南橋 昭, 尾上貞雄（北海道立畜産試験場）
 - IA-7 サイクリン D1 発現による RB 発現胚の発生停止解除
岩森巨樹, 内藤邦彦, 東條英昭（東大院・農生命）
 - IA-8 マウス体細胞および初期胚におけるメチル化 CpG 結合タンパク質の局在
須永弥咲¹, 木村浩孝², 中尾光義³, 伊藤雅夫¹, 小川英彦, 河野友宏²
（¹東農大・生物産業,²東農大・バイオサイエンス,³熊本大・医学部）
 - IA-9 ウシ栄養膜細胞株（BT-1）における ATP 受容体を介した細胞内 Ca²⁺ 反応
中野春男^{1,2}, 嶋田 新^{1,3}, 今井 敬¹, 高橋 透¹, 橋爪一善¹
（¹農業生物資源研究所 発生分化 生殖再生,²学振 科技特,³科技団 重点支援）
 - IA-10 インヒピン中和法により過排卵誘起したラットにおける卵の発生能
石亀晴道, 岸 久司¹, 新井浩司, 新井克彦, 上原孝吉, 渡辺 元, 田谷一善
（東京農工大農,¹独法・農業生物資源研）
- 10:10 ~ 10:30 顕微受精・性別別 座長：居在家義昭（独法・畜産草地研）
- IA-11 未成熟雄マウス由来 First Wave 精細胞を用いた顕微授精
三木洋美^{1,2}, 越後貫成美², 井上貴美子², 山本美江³, 野口洋子³, 高野 薫³, 持田慶司², 長嶋比呂志¹,
小倉淳郎²（¹明大院農,²理研 BRC,³感染研獣医）
 - IA-12 受精能獲得処理に伴うウシ Y 精子の出現頻度の解析
小林 仁, 金井弘尊, 外館暁子, 高坂哲也¹, 佐々田比呂志², 佐藤英明²（宮城農短大,¹静岡大農,²東北大院農）
- 10:30 ~ 11:00 PGCs・ES細胞 座長：丹羽皓二（岡山大・農）
- IA-13 マウス胎子生殖隆起の体外培養による始原生殖細胞から成熟卵母細胞への発生
中山友代[#], 本橋秀之¹, 加田日出美（東京農大短期生物生産,¹日大院応用生命,
[#]現所属；東京農大バイオサイエンス）
 - IA-14 マウス ES 細胞の増殖・分化と胚発生に及ぼす MEK 阻害剤の影響
本田紅里穂¹, 大越勝広, 細江実佐, 古沢 軌, 小杉山基昭¹, 徳永智之（農業生物資源研,¹茨城大院農）
 - IA-15 ブタ ES 細胞株の分離のためのフィーダー細胞の検討と細胞株分離の試み
小園井真人, 佐々田比呂志, 佐藤英明（東北大院農）

第II会場 8:30 ~ 11:00 演題番号 IIA-1 ~ IIA-15

- 8:30 ~ 9:00 アクチビン, インヒビン 座長: 田谷一善 (東京農工大・農)
- IIA-1 新規アクチビン β サブユニットとインヒビン α サブユニットとのヘテロダイマーの形成
宇城有紀, 橋本 統, 蜂谷秋津, 小川葉子, 星 信彦, 長谷川喜久 (北里大・獣医)
- IIA-2 ラットインヒビン A と B の特異的測定法の開発と生理学的意義
内藤雅也, 大関祐美子, 橋本 統, 星 信彦, 金子浩之¹, 長谷川喜久 (北里大獣医, ¹生物資源研)
- IIA-3 アクチビンの作用に対する 43kDa インヒビン結合蛋白質 (43kBP) の影響に関する研究
成尾貴志, 藤代 茜, 橋本 統, 星 信彦, 長谷川喜久 (北里大学獣医)
- 9:00 ~ 9:30 内分泌 座長: 田中知己 (東京農工大・農)
- IIA-4 エストロジェン受容体結合型内分泌攪乱物質の胎子・新生子期および生後持続曝露による雄マウスの脳・生殖器系への影響
割田克彦, 星 信彦, 小池康寛, 橋本 統, 長谷川喜久 (北里大・獣医)
- IIA-5 性成熟のタイミングと黄体形成ホルモン(LH)分泌におよぼすレプチンの免疫的中和の影響
上野山賀久, 田中 晃, 東村博子, 前多敬一郎 (名大院・生命農)
- IIA-6 雄ゴールデンハムスターの季節繁殖性と甲状腺との関係
齋田栄里奈^{1,2}, 金 万洙^{1,2}, 河津理子^{1,2}, 藤平篤志³, 渡辺 元^{1,2}, 田谷一善^{1,2}
(¹岐阜大連獣, ²東京農工大, ³獨協医大)
- 9:30 ~ 10:00 黄体退行 座長: 奥田 潔 (岡山大・農)
- IIA-7 黄体退行期における組織リモデリングに関わる因子 (matrix metalloproteinase および tissue inhibitor of matrix metalloproteinase) の局在
島辺宗健, 木曾美奈子, 小松紘司, 眞鍋 昇, 宮本 元 (京大院農・生体機構)
- IIA-8 老化促進モデルマウス卵巣における退行異常黄体の退行段階について
木曾美奈子, 小松紘司, 島辺宗健, 眞鍋 昇, 宮本 元 (京大院農 生体機構)
- IIA-9 マウスの黄体退行における可溶性 Fas の関与
小松紘司, 木曾美奈子, 島辺宗健, 中山瑞穂, 眞鍋 昇, 宮本 元 (京大院農 生体機構)
- 10:00 ~ 10:30 脳生理 座長: 西原真杉 (東大院・農生命)
- IIA-10 長鎖脂肪酸刺激に反応する延髄のグルコキナーゼ含有細胞
森山隆太郎, 東村博子, Somchai Sajapitak, 木下美香, 山田俊児, 吉田恭子, 前多敬一郎 (名大院生命農学)
- IIA-11 グルコキナーゼの脳内における組織特異的発現機構の解析
岡崎裕活, 加藤たか子, 加藤幸雄, 東村博子¹, 前多敬一郎¹
(明治大・農・生命科学・遺伝情報制御学研究室, ¹名古屋大・院・生命農学・動物生殖制御学研究分野)
- IIA-12 下垂体の転写因子 LH-2 と相互作用するコファクター cLIM-2 のクローニング
小泉 稔, 相川優子, 加藤たか子, 加藤幸雄 (明治大・農・生命)
- 10:30 ~ 11:00 発生 座長: 今川和彦 (東大院・農生命)
- IIA-13 ES-Derived Teratoma as an Epigenetic Model for Multipotency
Yuliya Kremenska, Maksym Kremensky, Jun Ohgane, Naka Hattori, Satoshi Tanaka and Kunio Shiota
(Laboratory of Cellular Biochemistry, Animal Resource Sciences, The University of Tokyo)
- IIA-14 Epigenetic Modification by DNA Methylation in Aged Animals
Maksym Kremensky, Takuya Imamura, Jun Ohgane, Naka Hattori, Satoshi Tanaka and Kunio Shiota
(Laboratory of Cellular Biochemistry, Animal Resource Sciences, The University of Tokyo)
- IIA-15 マウスの雌生殖隆起内 PGCs に発現するタンパク質の解析
真柳貴子, 黒澤良介, 大沼克彦¹, 高橋和政¹, 本山光博¹, 伊藤和衛, 高橋寿太郎
(岩手大・農, ¹中央クリニック 生命医学研)

第III会場 8:30 ~ 11:00 演題番号 IIIA-1 ~ IIIA-15

- 8:30 ~ 9:15 生殖の人為的操作 座長：音井威重（山口大・農）
- IIIA-1 ブタ体外成熟卵子を用いた顕微授精による子ブタの作出
中井美智子，柏崎直巳，滝澤明子，林 由理，中務胞，淵本大一郎¹，野口純子¹，金子浩之¹，紫野正雄，
菊地和弘¹（麻布大，¹農業生物資源研）
- IIIA-2 豚凍結乾燥精子を用いた顕微授精
權 仁圭¹，丹羽皓二^{1,2}（岡山大¹自然科研，²農）
- IIIA-3 インヒピンワクチン法によるウマの過排卵誘起の可能性
中井理恵^{1,2}，川田成代³，小栗紀彦³，岡 明男⁴，佐藤邦忠^{2,3}，三宅陽一^{2,5}，南保泰雄⁶，渡辺 元^{1,2}，
田谷一善^{1,2}（¹東京農工大，²岐阜大院，³帯畜大，⁴NLBC，⁵岩手大，⁶JRA日高育成牧場）
- IIIA-4 腹腔内視鏡下卵胞吸引法によるシバヤギ体内成熟卵子の反復採卵
大越勝広，小山眞一郎，高橋清也¹，赤木悟史¹，足立憲隆¹，古沢 軌，藤本純一郎²，徳永智之
（生物研，¹畜草研，²国立成育医療センター）
- IIIA-5 ウシ体外成熟卵子の超急速ガラス化におけるエチレングリコール濃度
浜田由佳子，富永敬一郎，柴谷増博（兵庫農林水産技術総合セ）
- 9:15 ~ 10:00 発情から受胎・妊娠 座長：大浪洋二（北里大・獣医）
- IIIA-6 Luteal Function and Conception in Lactating Cows after Artificial Insemination and Some Factors Affecting the Luteal Function
ホメイダ アブダラヒム，中尾敏彦（広島大院国際協力研究科）
- IIIA-7 スタンディング感知器によって観察された和牛の発情特性と受胎率
吉田智佳子，中尾敏彦（広島大院国際協力研究科）
- IIIA-8 ウシ超早期妊娠因子（Super-EPF）精製分画の活性測定法
福山 隆，伊藤和衛，高橋壽太郎（岩手大・農）
- IIIA-9 肉牛の妊娠期における胎子胎盤機能と新生子の健康状態
金ヶ江崇，磯部直樹，中尾敏彦，山城英和，窪田浩和，菅野美樹夫¹，斉藤美緒¹，田坂亮代²，山本康廣²，
奥田 潔³，野久保隆³，川畑昭洋³，藤井陽一⁴（広島大，¹福島畜試，²岡山県畜産セ，³岡山大，⁴山口畜試）
- IIIA-10 雌シバヤギにおける春機発動の時期およびその決定要因の検討
櫻井勝康^{1,2}，大蔵 聡¹，松山秀一^{1,3}，小原嘉昭²，岡村裕昭¹（¹農業生物資源研 神経内分泌，²東北大院 農，
³名大院 生命農学）
- 10:00 ~ 10:45 ホルモン・遺伝子発現 -1 座長：福井 豊（帯畜大）
- IIIA-11 ウシ卵胞液中の90kDa インヒピン結合蛋白質の精製と構造
中沢 圭，成尾貴志，内藤雅也，橋本 統，星 信彦，長谷川喜久（北里大学獣医）
- IIIA-12 ウシ子宮内膜間質細胞における TNF α の PGF $_{2\alpha}$ 分泌促進機構におよぼす IFN- τ の影響
笠原優子¹，高橋ひとみ²，奥田 潔¹（¹岡山大・院自然科学研，²畜草研）
- IIIA-13 ウシ子宮内膜のプロスタグランジン (PG) F $_{2\alpha}$ 合成におよぼすインターロイキン (IL) -1 α の影響
福井 剛，奥田 潔（岡山大・院自然科学研）
- IIIA-14 ウシ発情周期中の発育卵胞および閉鎖卵胞におけるアンギオポエチン -Tie 系の mRNA 発現
林 憲悟，Tomas J. Acosta，手塚雅文，林 美里，Bajram Berisha¹，Dieter Schams¹，宮本明夫
（帯畜大，¹ミュンヘン工科大）
- IIIA-15 ミニブタおよびラット卵巣への血管内皮増殖因子（VEGF）遺伝子投与による卵胞発育誘起
清水 隆，佐々田比呂志，佐藤英明（東北大院農）

第I会場 16:10 ~ 16:50 演題番号 IB-1- ~ IB-4

- 16:10 ~ 16:50 卵成熟・体外受精・顕微受精 座長：吉岡耕治（独法・動物衛生研）
- IB-1 エストラジオ - ルによる卵子の NO 生成能増加と卵成熟誘導
服部眞彰，荒井 学，猿渡敬志，加藤幸雄¹（九州大院農，¹明治大農）
- IB-2 ブタ卵子の体外成熟におよぼすステロイドホルモンの影響
李 青¹，丹羽皓二^{1,2}（岡山大¹自然科研，²農）

- IB-3 顕微注入法による耳皮膚線維芽細胞由来体細胞クローン豚の生産
河原崎達雄, 柴田昌利, 土屋聖子, 大竹正剛, 岩元正樹¹, 菊地和弘², 美川 智², 粟田崇², 久保正法³, 大西 彰²
(静岡中小試, ¹プライムテック, ²生物研, ³動衛研)
- IB-4 マストミス伸張精子細胞を用いた顕微授精による産仔の作出
越後貫成美¹, 持田慶司¹, 井上貴美子¹, 高野 薫², 小倉淳郎¹ (¹理研 BRC 遺伝工学基盤技術, ²感染研獣医)

第 II 会場 16:10 ~ 16:50 演題番号 IIB-1- ~ IIB-4

- 16:10 ~ 16:50 遺伝子関係 座長: 加藤幸雄 (明治大・農)
- IIB-1 インターフェロン・タウ遺伝子の発現における Ets-2 サイトの役割
徐 寧淳, 高橋祐司, ロナルド クリステンセン¹, 今川和彦, 酒井仙吉
(東大・農・動物育種繁殖学, ¹米国・農務省・産業動物研究所・繁殖部)
- IIB-2 Expression of inhibin/activin β A mRNA in the bovine placenta
C. B. Herath, O. Yamada, H. Ishiwata, K. Kizaki, K. Imai, S. Katsuma¹, S. Shiojima¹, A. Hirasawa¹, G. Tsujimoto¹, K. Hashizume (National Institute of Agrobiological Sciences, ¹National Childrens Medical Research Center)
- IIB-3 Run-off 系によるマウス Sry5' 上流域における転写制御領域の解析
横内 耕, 伊藤雅方, 吉田和久, 加納 聖, 内藤邦彦, 東條英昭 (東大院農生命・応用遺伝)
- IIB-4 クローン化したヤギ trophoblast 細胞株 HTS-1 における PL ならびに IFN τ の産生と培養液中への分泌について
今井美沙¹, 目黒英男², 松尾 力², 西橋邦佳¹, 宮崎晴子³, 平山妙子³, 佐分作久良⁴, 今川和彦¹, 舘 鄰^{2,5}
(¹東大農生命, ²麻布大, ³理研, ⁴群大, ⁵三菱生命研)

ポスター発表

ポスター会場 8:30 ~ 17:50 演題番号 PB-1 ~ PB-14

- PB-1 マウス精子常温保存: 精子懸濁液の精子生存率に与える影響
佐藤正宏, 木村 穰¹ (東海大総医研, ¹東海大医分子生命)
- PB-2 In vitro でマウス Sry mRNA を切断する anti-Sry ribozyme の設計について
中村香織¹, 堀井督子², 村田千怜³, 西村誠一郎⁴, 久松 伸¹, 其木茂則¹, 中山 文⁵, 多比良和誠⁵, 西野光一郎², 舘 鄰^{1,6} (麻布大¹, 東大院農², 筑大院環³, 豊科技大院⁴, 東大院工⁵, 三菱生命研⁶)
- PB-3 ブタ卵子の受精・初期発生過程における脂肪滴の変遷
菊地和弘, Hans Ekwall¹, Paisan Tienthai¹, 河合康洋², 野口純子, 金子浩之, Heriberto Rodriguez-Martinez¹
(生物研, ¹スエーデン農科大, ²岡山大)
- PB-4 ガラス化液の添加・除去条件がウシ体外成熟卵子のガラス化保存後の生存性に及ぼす影響
志水 学, 平尾雄二, 伊賀浩輔, 竹之内直樹 (東北農研センター)
- PB-5 ウシ胚の初期発生に及ぼすインターフェロン α の作用
高橋ひとみ, 高橋昌志, 浜野晴三¹, 久保康明, 下司雅也, 橋爪一善², 岡野 彰
(独法農研機構, ¹家畜バイテクセ, ²独法生資研)
- PB-6 Distinguishable fate of blastomeres of the two-cell pig embryo: lineage tracing studies
Medvedev S, Fuchimoto D, Onishi A, Nagai T (National Institute of Agrobiological Sciences)
- PB-7 黒毛和種妊娠牛の末梢血中 M-CSF 濃度の推移
大島一修, 吉原一浩¹, 小島孝敏, 小松正憲 (近中四農研, ¹動衛研)
- PB-8 ウシ子宮セルピンの構造と発現解析
嶋田 新¹, 今井 敬, 高橋 透, 橋爪一善 (農業生物資源研究所 生殖再生研究チーム, ¹科技団 重点支援)
- PB-9 黒毛和種におけるインヒピン免疫が一次主席卵胞の発育時期に及ぼす影響
竹之内直樹, 大島一修¹, 島田和宏², 高橋政義², 平尾雄二, 志水 学, 伊賀浩輔, 下司雅也², 永井 卓³
(東北農研, ¹近畿中国四国農研, 畜草研², 生資研³)
- PB-10 非極性必須アミノ酸の存在は 4 細胞以前のブタ活性化 2 倍体のアクチンフィラメント形成を阻害する
Nguyen Van Thuan¹, 原山 洋², 宮野 隆¹, 三宅 正史² (¹神戸大・農, ²自然科学)

- PB-11 ウシ子宮内膜の小丘および小丘間領域から単離した間質細胞の増殖性とその細胞外マトリックスの構築特性
久保康明, 高橋ひとみ, 下司雅也, 中島郁世, 岡野 彰 (畜草研)
- PB-12 胎仔期及び授乳期にビスフェノール A を曝露されたラットの視床下部神経機構および甲状腺ホルモン
川口真以子^{1,2}, 船橋利也², 今井秀樹¹, 美津島大², 古田 都², 森田昌敏¹, 貴邑富久子²
(¹国環研, ²横浜市大医第2生理)
- PB-13 デジタルスチルカメラを利用した動物精子の運動性評価装置
小林 真, 内田雅也, 伊藤菜美子, 瀬戸利恵, 田原由希子 (佐賀大農)
- PB-14 母乳と代用乳で哺育された子牛の血液中ダイオキシン, フランおよびコプラナー PCB 濃度の比較
平子 誠 (農研機構・畜草研)

第2日目 9月14日(土)

口頭発表

第I会場 8:30 ~ 12:00 演題番号 IA-16 ~ IA-35

- 8:30 ~ 9:20 卵成熟・卵活性化・卵胞 座長: 鈴木裕之 (弘前大・農)
- IA-16 ブタ卵母細胞成熟に及ぼす DON と抗ブタ CD44 抗体の影響
木村直子, 横尾正樹, 永原貴子, 佐藤英明 (東北大院農)
- IA-17 Meiotic maturation of pig oocytes requires other member of the MAPK family, p38 MAPK
Luis G. Villa-Diaz¹ and Takashi Miyano² (¹Graduate School of Science and Technology, ²Faculty of Agriculture, Kobe Univ.)
- IA-18 ブタ卵丘膨化に伴うヒアルロン酸結合蛋白質の動態解析と卵成熟におけるヒアルロン酸の関与
横尾正樹, 木村直子, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農)
- IA-19 二価陽イオンの顕微注入後にみられるブタ卵母細胞内遊離カルシウムイオン濃度の変化
岡田幸之助, 宮野 隆¹, 三宅正史 (神戸大院自然科学, ¹神戸大農)
- IA-20 免疫不全マウスの腎に移植したブタ卵胞の発育
香川則子, 石井寛子, 門田雅子, 宮本 元, 眞鍋 昇 (京大院農・生体機構)
- 9:20 ~ 9:50 精子・凍結保存 座長: 葛西孫三郎 (高知大・農)
- IA-21 緩衝液(修正 Hulsenberg VIII)を入れた容器に採取したミニブタ射出精子の受精能について
河野菜摘子, 寺田隆登 (広島大・生物圏科学)
- IA-22 ラット射出精子の凍結保存
滝澤明子, 新井 綾, 添田智子, 前泊直樹, 紫野正雄, 猪股智夫¹, 柏崎直巳
(麻布大・動物繁殖学研究室, ¹実験動物学研究室)
- IA-23 凍結マウス精子における融解後の運動性, 形態的傷害および受精率との相関について
西園啓文¹, 中潟直己² (¹熊本大院・自然科学研究科, ²熊本大・CARD 資源開発分野)
- 9:50 ~ 10:20 卵子凍結保存 座長: 平尾雄二 (独法・東北農研センター)
- IA-24 ブタ卵核胞期卵子のガラス化保存
朴 基殷¹, 韓 明淑¹, 權 仁圭¹, 丹羽皓二^{1,2} (岡山大¹自然科研, ²農)
- IA-25 水チャンネル遺伝子導入マウス卵子の凍結融解後の受精・発生能
山地洋平, 葛西孫三郎, 枝重圭祐 (高知大農)
- IA-26 凍結マウス未受精卵を用いた卵細胞質内精子注入法について
坂本 亘, 金子武人, 中潟直己 (熊本大・動物資源開発研究センター)
- 10:20 ~ 11:10 核移植 座長: 河野友宏 (東京農大)
- IA-27 Demecolcine 処理がウシ体細胞核移植卵の発生能に及ぼす影響
谷 哲弥, 島田浩明¹, Xi Jun Yin, 加藤容子, 角田幸雄 (近大農, ¹三重県科学技術センター)

- IA-28 demecolcine ならびに nocodazole による化学的染色体除去法を用いたブタ体細胞核移植
川上雅弘, 谷 哲弥, 加藤容子, 角田幸雄 (近大農)
- IA-29 卵胞殻共培養によるブタ卵子体外成熟がミニブタ体細胞核移植胚の発生に及ぼす影響
星野洋一郎¹, 長尾恭光¹, 南直治郎¹, 山田雅保¹, 三宅正史², 今井 裕¹ (¹京都大院農, ²神戸大院自然)
- IA-30 体外成熟培養ブタ卵母細胞の核移植操作過程における MPF 活性および再構築胚の発生に及ぼす成熟時間の影響
若井拓哉, 川原 学, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農)
- IA-31 マウス卵核胞置換卵からの産仔の作出
中田久美子¹, 三木洋美¹, 山崎大賀¹, 青野文仁², 水野仁二², 桑山正成², 加藤 修², 長嶋比呂志¹
(¹明大農, ²加藤レディースクリニック)

11:10 ~ 11:50 クローン胚 座長: 角田幸雄 (近畿大・農)

- IA-32 クローンマウス作出における連続核移植の有効性
小野由紀子¹, 河野友宏² (¹東京農大畜産, ²東京農大バイオ)
- IA-33 Ionomycin および DMAP を用いたラット再構築胚の活性化方法の確立
水谷英二, 富岡郁夫, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農)
- IA-34 外来遺伝子を導入したウシ繊維芽細胞によるクローン胚の作出
前田彦彦¹, 岡本知可子¹, 笠松 礼¹, 玉里友宏¹, 伊藤章博¹, 佐伯和弘^{1,2}, 細井美彦^{1,2}, 松本和也^{1,2}, 入谷 明^{1,2} (¹近大生物理工, ²近大先端技総研)
- IA-35 集合法キメラによる体細胞クローン由来細胞の生存性
木元真悟¹, 小野由紀子¹, 小川英彦², 百目鬼郁男¹, 河野友宏² (¹東農大・畜産, ²東農大・バイオサイエンス)

第 II 会場 8:30 ~ 12:00 演題番号 IIA-16 ~ IIA-35

8:30 ~ 9:10 アポトーシス 座長: 内藤邦彦 (東大院・農生命)

- IIA-16 ブタ卵卵顆粒層細胞アポトーシスにおけるミトコンドリアを介した細胞死シグナル伝達系の関与
松井俊勝, 中川真輔, 前田晃央, 井上直子, 中山瑞穂, 宮本 元, 眞鍋 昇 (京大院農・生体機構)
- IIA-17 アポトーシス誘導剤(DXR)に対するマウス卵母細胞の反応性の成熟段階による相違
吉田友教, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農)
- IIA-18 酸化ストレスによるブタ卵卵顆粒膜細胞のアポトーシスに関するシグナル伝達機構の解析
田村真理子, 宮野 隆¹, 宮崎 均 (筑波大・遺伝子実験センター, ¹神戸大・農)
- IIA-19 ブタ卵子に付着する卵丘細胞における cAMP 依存性 PI 3-kinase-PKB 系の活性化とそのアポトーシス抑制作用
島田昌之, 磯部直樹¹, 寺田隆登 (広島大院・生物圏科学, ¹広島大院・国際協力)

9:10 ~ 9:50 卵子生理 座長: 眞鍋 昇 (京大院・農)

- IIA-20 マウス卵母細胞成熟機構における PI3K および Akt の関与とその発現動態
星野由美, 吉田徳之, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農)
- IIA-21 脱核したブタ卵核胞期卵母細胞における Cdc2 キナーゼ活性の変化
大串素雅子, Luis Villa Diaz, 宮野 隆¹ (神戸大院自然科学, ¹神戸大農)
- IIA-22 ブタ卵子体外成熟培養時において卵丘細胞が分泌するプロジェステロンが卵子の減数分裂再開を促進する
山下泰尚, 島田昌之, 寺田隆登 (広島大院・生物圏科学)
- IIA-23 卵子特異的に発現する新規遺伝子の解析
高山英恵¹, 南直治郎¹, 相澤 明², 大橋紹宏¹, 今井 裕¹ (¹京大院農, ²家畜改良研究所)

9:50 ~ 10:20 トランスジェニックマウス 座長: 長嶋比呂志 (明治大・農)

- IIA-24 脂肪酸不飽和化酵素遺伝子を構成的に発現させたトランスジェニックマウスの生理学的解析
松尾涼子, 池田光美, 坪内美紀, 松本和也¹, 田口善智¹, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 鈴木石根², 木下幹郎³, 村田紀夫², 入谷 明¹ (近大生物理工, ¹近大先端技総研, ²基生研, ³帯広畜大)
- IIA-25 植物由来不飽和化酵素遺伝子を構成的に発現させたトランスジェニックマウスにおける UCP 遺伝子発現解析
池田光美, 松尾涼子, 坪内美紀, 松本和也¹, 田口善智¹, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 鈴木石根², 木下幹郎³, 村田紀夫², 入谷 明¹ (近大生物理工, ¹近大先端技総研, ²基生研, ³帯広畜大)

IIA-26 脂肪組織特異的に ω6 由来脂肪酸飽和化酵素 (FAD2) を発現させたトランスジェニックマウスの解析
渡辺夏来, 大対稔子, 松本和也¹, 田口善智¹, 佐伯和弘¹, 細井美彦¹, 鈴木石根², 木下幹朗³, 村田紀夫²,
入谷 明¹ (近大生物理工, ¹ 近大先端技総研, ² 基生研, ³ 帯広畜大)

10:20 ~ 11:00 妊娠関係 座長: 岡野 彰 (独法・畜産草研)

IIA-27 マウス着床期子宮における血管新生と cyclooxygenase-2 の関与
松本浩道¹, Bibhash C. Paria², Sanjoy K. Das², Sudhansu K. Dey², 佐藤英明¹
(¹ 東北大院農, ² Vanderbilt University Medical Center)

IIA-28 栄養膜細胞の分化・増殖における DNA methyltransferase1 (Dnmt1) の関与
小田真由美, 田中 智, 塩田邦郎 (東京大院・農学生命科学)

IIA-29 栄養膜幹細胞 (TS 細胞) 特異的遺伝子の同定とその発現解析
中島晶子, 田中 智, 塩田邦郎 (東京大院, 農学生命科学研究科)

IIA-30 マウス初期胚における DD 解析により新規に単離された zag1 遺伝子の抗体を用いた発現解析
伊藤一成, 松本和也¹, 佐野佳子, 松岡俊樹, 佐伯和弘¹, 細井美彦¹, 入谷 明¹ (近大生物理工, ¹ 近大先端技総研)

11:00 ~ 11:50 遺伝子関係 座長: 東條英昭 (東大院農生命)

IIA-31 ブタ精巣における c-KIT 遺伝子の発現
寺田 圭, 森匡, 鈴木啓太¹, 渡辺智正 (北大院農, ¹ 北大北方センター)

IIA-32 メチル化による Interferon tau (IFNτ) 遺伝子の発現調節機構
野島 久, 永岡謙太郎, 今川和彦, 酒井仙吉 (東大・農・動物育種繁殖学)

IIA-33 Cyto Trap Two-Hybrid System を利用したニワトリ Wpkci タンパク質と相互作用する因子の探索
印藤頼子, 堀 哲也^{1,2}, 上野山厚人, 佐伯和弘¹, 松本和也¹, 細井美彦¹, 入谷 明¹
(近大生物理工, ¹ 近大先技総研, ² 現所属; 国立遺伝研)

IIA-34 マウスゲノム CpG アイランドの DNA メチル化の解析
阿部徹也, 服部 中, 大鐘 潤, 田中 智, 塩田邦郎 (東京大院, 農学生命科学研究科)

IIA-35 コファクター CLIM2 に相互作用するタンパク質群のクローニング
松本香織, 加藤たか子, 加藤幸雄 (明治大・農・生命科学・遺伝情報制御学研究室)

第 III 会場 8:30 ~ 10:40 演題番号 IIIA-16 ~ IIIA-28

8:30 ~ 9:00 牛の分娩前後の生殖機能 座長: 上村俊一 (鹿児島大・農)

IIIA-16 乳牛の分娩後における卵巢機能回復状況が排卵同期化・定時人工授精による受胎率に及ぼす影響
山田恭嗣^{1,2}, 中尾敏彦¹, 磯部直樹¹, 吉村知子¹, 松田 原²
(¹ 広島大院・国際研, ² 根室地区 NOSAI・中春別支所)

IIIA-17 ウシ分娩前後末梢血中インターロイキン -6 (IL-6) 濃度の変化と胎盤組織中の IL-6 発現
石川行一, 浅賀真紀, 田中義信, 萩原克郎, 中田 健, 森好政晴, 澤向 豊 (酪農大・獣医)

IIIA-18 ELISA による乳汁中 Progesterone の直接測定法の開発とそれによる乳牛の分娩後卵巢機能回復状況の推定
吉村知子, 磯部直樹, 吉田智佳子, 中尾敏彦, 窪田宏和¹ (広島大院国際研, ¹ 広島大農場)

9:00 ~ 9:30 ホルモン・遺伝子発現 -2 座長: 津曲茂久 (日大・生物資源)

IIIA-19 北西太平洋産ヒゲクジラ類の血清中性ホルモン (T, E₂, FSH, LH) 濃度と精細管内組織像の関連性
渡部浩之¹, 茂越敏弘², 浅田正嗣¹, 林 憲悟¹, 藤瀬良弘², 石川 創², 大隅清治², 宮本明夫¹, 福井 豊¹
(¹ 帯畜大, ² 日本鯨類研究所)

IIIA-20 南極海産ミンククジラ胎子卵巢内の前胞状卵胞の発現と胎子・臍帯・母体中性ホルモン濃度との関連性
村西由紀¹, 佐々木基樹¹, 林 憲悟¹, 阿部憲人¹, 藤平拓磨¹, 石川 創², 大隅清治², 宮本明夫¹, 福井 豊¹
(¹ 帯畜大, ² 日本鯨類研究所)

IIIA-21 シバヤギにおいて絶食による GnRH パルスジェネレーター活動の抑制はグルコース投与により解除される
松山秀一¹², 大蔵 聡¹, 櫻井勝康¹³, 束村博子², 前多敬一郎², 岡村裕昭¹
(¹ 農業生物資源研 神経内分泌, ² 名大院 生命農学, ³ 東北大院 農)

- 9:30 ~ 10:00 黄体機能-1 座長：澤田 勉（大府立大・農）
- IIIA-22 ウシ黄体における黄体形成ホルモンのホスホリパーゼを介したプロゲステロン合成調節機構
西村 亮，奥田 潔（岡山大・院自然科学研）
- IIIA-23 ウシ黄体の Fas を介したアポトーシスに及ぼすプロゲステロン (P4) の影響
坪内美紀，奥田 潔（岡山大・院自然科学研）
- IIIA-24 ウシ成熟卵胞の排卵前後とそれに続く形成期黄体内の血流変動の経時的観察：自然排卵と誘起排卵の比較
Tomas J. Acosta，林 憲悟，大谷昌之，宮本明夫（帯畜大）
- 10:00 ~ 10:40 黄体機能-2 座長：加茂前秀夫（東京農工大・農）
- IIIA-25 ウシの自発的な黄体退行中の PGF_{2α} 放出は本当に子宮からだけなのだろうか？
白砂孔明，朝岡 瞳，Tomas J Acosta，林 憲悟，林 美里，田中 純，大谷昌之，宮本明夫（帯畜大）
- IIIA-26 自発的な黄体退行中におけるウシ黄体組織内のアンジオテンシン II 局所分泌のリアルタイム観察
朝岡 瞳，白砂孔明，Tomas J Acosta，林 美里，田中 純，林 憲悟，大谷昌之，宮本明夫（帯畜大）
- IIIA-27 自発的に退行中のウシ黄体内でもエンドセリン-1 局所分泌は増加する
大谷昌之，Tomas J Acosta，白砂孔明，朝岡 瞳，田中 純，林 憲悟，林 美里，宮本明夫（帯畜大）
- IIIA-28 発情周期中および PGF_{2α} 投与後のウシ黄体内でのアンジオポエチンとレセプター Tie mRNA 発現の変化
田中 純，T. J. Acosta，B. Berisha¹，手塚雅文，W. M. Amselgruber²，小林修一，D. Schams¹，宮本明夫
（帯畜大，¹ミュンヘン工科大，²ホーエンハイム大）

第 III 会場 10:40 ~ 12:00 演題番号 IIIB-1 ~ IIIB-8

- 10:40 ~ 11:20 親子判定・性別判別・胚 座長：菱沼 貢（鳥取大・農）
- IIIB-1 マイクロサテライト DNA 多型によるウマ親子判定能力の検討
永田俊一，梶 裕永，戸崎晃明，黒澤雅彦，井上陽一¹，堀井洋一郎¹（競走馬理化学研究所，¹宮崎大・家畜内科）
- IIIB-2 牛性別判別胚サンプルを用いた Mcsu 欠損症遺伝子型と性別の同時診断法
藤田達男¹，谷口幸雄²，梅木英伸¹，志賀一穂¹，杉本喜憲³，佐々木義之²
（¹大分県畜試，²京都大院農，³動物遺伝研）
- IIIB-3 PEP-PCR 法を利用したウシ体外受精 3 日目あるいは 4 日目胚の 1 ~ 2 割球を用いた性別判定と胚の発生能
富永敬一郎，浜田由佳子，柴谷増博（兵庫農林水産技術総合セ）
- IIIB-4 経膈採卵技術の現場への定着に向けての検討
轟木淳一，窪田 力，溝下和則，山口 浩，林 史弘（鹿児島県肉用牛改良研究所）
- 11:20 ~ 12:00 生殖の人為的調節 座長：奥田 潔（岡山大・農）
- IIIB-5 発情周期 13 日目子宮角内への組換えウシインターフェロン - タウの 1 回投与が発情周期に及ぼす影響
下司雅也，大下雄三¹，高橋ひとみ，久保康明，高橋昌志²，犬丸茂樹³，横溝祐一³，岡野 彰
（畜草研，¹鳥取県畜試，²九州沖縄農研，³動衛研）
- IIIB-6 牛における排卵後の腔内留置型プロゲステロン徐放剤処置が卵巣および発情発現に及ぼす影響
石橋 愛¹，福田 昌治²，金 昇準¹，田中 知己¹，加茂前秀夫¹（¹東京農工大，²埼玉県秩父高原牧場）
- IIIB-7 排卵後 2 日目の牛に子宮内注入したヨード剤の排出と発情周期への影響
宮田健二，金 昇準，田中知己，加茂前秀夫（東京農工大・農）
- IIIB-8 ウシの排卵同期化処置および定時人工授精後 11 日における GnRH 投与の有効性
大澤健司，松永仁子，西野和幸¹，大津信一¹，田高 恵²，武藤康司³，牧村敏博⁴，伊藤和衛，三宅陽一
（岩手大，¹JA 新岩手，²NOSAI 岩手，³瑞浪市役所，⁴牧村診療所）

ポスター発表

ポスター会場 8:30 ~ 17:50 演題番号 PA-1 ~ PA-33

- PA-1 初期発生途上のウシ活性化卵母細胞ならびに受精卵子における LAP2 β の局在
伊佐治麻実子, 岩田尚孝¹, 太田 麻由子¹, 原山 洋, 三宅正史 (神戸大自然科学,¹(財)神戸みのりの公社)
- PA-2 コプラナー PCB 曝露ラット出生子卵巣における遺伝子動態の定量的解析
櫻田陽右, 代田真理子¹, 代田欣二 (麻布大生物科学総合研究所,¹ 食品薬品安全センター-秦野研)
- PA-3 コプラナー PCB の経胎盤及び経乳汁曝露がラット乳児の卵巣における卵胞の形成および発育に及ぼす影響
加藤千恵, 曾田祥恵, 代田欣二, 代田真理子¹ (麻布大附置生物科学総合研究所,¹ 財団法人食品薬品安全センター)
- PA-4 マウス胎盤における新規 G タンパク結合性オーファン受容体の発現の推移
今西 哲, 田中宇子, 岡本怜衣香, 森田真紀, 杉本美紀, 眞鍋 昇, 宮本 元 (京大院農・生体機構)
- PA-5 イヌにおける糞中性ステロイドホルモン濃度測定による生殖周期のモニタリング
岩井舞子, 村瀬哲磨, 坪田敏男 (岐阜大・農・獣医)
- PA-6 Cre/loxP 系を利用した初代培養細胞による Sry 発現制御領域について
伊藤雅方, 横内 耕, 吉田和久, 加納 聖, 内藤邦彦, 遠藤仁司¹, 袴田陽二¹, 宮崎純一², 東條英昭
(東大農生命・応用遺伝学,¹ 自治医大,² 大阪大医)
- PA-7 雄二ホンジカにおける社会行動と糞中テストステロン濃度の相互関係
山内貴義, 小泉 透¹, 矢部恒晶¹, 阿久津仁美², 森 裕司²
(岩手県環境保健研究センター,¹ 森林総研・九州,² 東大院・農生命)
- PA-8 ブタ卵子の 2 細胞期への進行に果たす PI 3-kinase の役割
伊藤潤哉¹, 河野菜摘子¹, 佐溝浩佑², 島田昌之^{1,2}, 寺田隆登^{1,2} (¹ 広島大院・生物圏科学,² 広島大・生物生産)
- PA-9 ウズラ ZPC の分泌における翻訳後修飾の役割
笹浪知宏, 森 誠 (静岡大・農)
- PA-10 連続核移植による体細胞クローンラット作製の試み
加藤めぐみ^{1,2}, 石川綾子¹, 保地眞一³, 平林真澄¹ (¹ 岡崎生理研,² CREST,³ 信州大繊維)
- PA-11 肉用牛における妊娠期の血漿中エストロンサルフェート濃度と胎子・胎盤機能との関係
磯部直樹, 中尾敏彦, 上原 理¹, 窪田浩和¹, 山城英和¹ (広島大院国際協力,¹ 広島大生物生産)
- PA-12 発情期のヤギの末梢血中に出現するインスリン様成長因子 I (IGF-I) の由来に関する研究
野中寿美恵, 橋爪 力, 堀内麻未, 三上詩子, 大澤健司, 三宅陽一, 原 茂雄 (岩手大農)
- PA-13 グレリンによるブタ下垂体前葉細胞からの成長ホルモン分泌特性
堀内麻未, 橋爪 力, 館 直美, 野中寿美恵, 三上詩子, 児島将康¹ (岩手大農,¹ 久留米大分子生命科学研究所)
- PA-14 ウサギ前核期卵のガラス化保存: ゲルローディングチップ法, クライオループ法, クライオトップ法の比較
寺尾竜馬, 亀井美加子¹, 平尾雅郎¹, 平林真澄², 保地眞一 (信州大繊維,¹ 北山ラベス,² 岡崎生理研)
- PA-15 Endocrinological changes before and after removal of the Granulosa Theca Cell Tumor (GTCT) affected ovary in 5 mares
M.S. Hoque^{1,2}, H. Senba³, R.I. Derar^{1,4}, G. Watanabe⁵, K. Taya⁵, T. Osawa¹ and Y-I. Miyake¹
(¹ Iwate Univ., ² Gifu Univ., ³ NOSAI Hidaka, ⁴ Assiut Univ., Egypt, ⁵ Tokyo Univ. of Agric. and Technol.)
- PA-16 培養マウス生殖隆起から出現した始原生殖細胞 (PGCs) 様細胞の培養とその特性
小田朋佳, 真柳貴子, 高橋寿太郎, 伊藤和衛, 上山あや子¹
(岩手大・農,¹ 岩手大・機器分析センター)
- PA-17 マウス 20 α -水酸化ステロイド脱水素酵素遺伝子のプロラクチンによる発現調節機構
平林啓司, 石田真帆, 鈴木正寿, 山内啓太郎, 西原真杉 (東京大・院・農学生命科学・獣医生理)
- PA-18 マウス雄生殖隆起で発現する抗原タンパク質の同定
黒澤良介, 真柳貴子, 大沼克彦¹, 高橋和政¹, 本山光博¹, 伊藤和衛, 高橋寿太郎
(岩手大・農,¹ 中央クリニック 生命医学研究所)
- PA-19 転写因子 LH2 によるブタ下垂体糖タンパク質ホルモン遺伝子の発現調節
相川優子, 小泉 稔, 松本香織, 加藤たか子, 加藤幸雄 (明治大・農・生命科学)
- PA-20 ウシ超早期妊娠因子 (Super-EPF) 酵素免疫測定法に関する検討
工藤 晶, 松原和衛, 高橋寿太郎 (岩手大・農)
- PA-21 マウス 1 細胞期胚における導入外来性遺伝子の転写と翻訳の開始時期の検討
人見修司, 松本和也¹, 大竹 聡, 矢野英樹, 鹿嶽惇一, 堀 哲也, 細井美彦¹, 佐伯和弘¹, 入谷 明¹
(近大生物理工,¹ 近大先端技総研)

- PA-22 A case of atresia ani with diphallus and separate scrotums in a calf
ムハムド ガニム, 吉田智佳子, 磯辺直樹, 中尾敏彦, 山城英和¹, 窪田浩和¹, 三宅陽一², 中田 健³
(広大院国際,¹ 広大農場,² 岩手大獣医,³ 酪農大獣医)
- PA-23 ウシ超早期妊娠因子 (Super-EPF) がマウスミエローマ細胞 (FO) の増殖に及ぼす影響
遠藤久誉, 伊藤和衛, 高橋寿太郎 (岩手大・農)
- PA-24 牛の GnRH 中和のための抗血清の作成ならびにその特性の検討
田村康浩, 石川行一, 田中義信, 中田 健, 森好政晴, 澤向 豊 (酪農大・獣医)
- PA-25 乳牛の分娩前の末梢血中 IGF-1 濃度変化と分娩後の卵巣・生殖器疾患発症との関係
菊川幸子, 浅賀真紀, 石川行一, 中田 健, 森好政晴, 澤向 豊 (酪農大・獣医)
- PA-26 OEP 添加およびストロー封入の時期によるラット精巣上体精子凍結の改善
奥田泰士, 添田朋子, 紫野正雄, 猪股智夫¹, 柏崎直巳 (麻布大・獣医, 動物繁殖学研究室,¹ 実験動物学研究室)
- PA-27 ブタにおける細胞質内精子注入後の精子先体および精子核の形態変化
片山弥佳, 三宅正史 (神戸大院自然科学研究科)
- PA-28 乳腺上皮細胞の増殖に及ぼす乳清酸性タンパク質の強制発現の影響
生見尚子, 池田佳代子, 湯本将貴, 堀井督子, 加納聖, 内藤邦彦, 東條英昭 (東大院農学生命 応用遺伝学)
- PA-29 初乳の摂取により新生子馬の血清中へオプソニン物質は移行するか
長谷川裕子, 首藤文榮, 南保泰雄¹, 松井 朗¹, 杉本明子, 前田順子, 松永仁子, 大澤健司, 三宅陽一
(岩手大,¹ 日本中央競馬会)
- PA-30 ウシの黄体機能コントロールを目的とした組換え体 IFN- τ の臨床評価 - 有効投与量と副作用について -
松永仁子, 大澤健司, 下司雅也¹, 高橋ひとみ¹, 犬丸茂樹², 横溝祐一², 長屋英和³, 信戸一利⁴, 杉本明子,
長谷川裕子, 前田順子, 伊藤和衛, 三宅陽一 (岩手大,¹ 畜草研,² 動衛研,³ 片倉工業,⁴ 家畜改良センター)
- PA-31 ウシ抗インヒピン血清を用いた受動免疫による黒毛和種牛の過剰排卵処置試験
前田順子, 竹之内直樹¹, 平田統一, 杉本明子, 長谷川裕子, 松永仁子, 大澤健司, 三宅陽一
(岩手大,¹ 独法・東北農研)
- PA-32 ES 細胞クローンマウス胚におけるインプリント遺伝子 Igf2r のメチル化解析
樋浦 仁, 小見山純一, 小野由紀子¹, 小川英彦, 河野友宏 (東京農大・バイオ,¹ 東京農大・畜産)
- PA-33 Effects of invasive adenylate cyclase, 3-isobutyl 1-methylxanthine and dibutyryl cyclic AMP on IVM, IVF and IVC of porcine oocytes
Tamas Somfai^{1,3,4}, Kazuhiro Kikuchi¹, Akira Onishi¹, Masaki Iwamoto², Dai-ichiro Fuchimoto¹, Eimei Sato³, Takashi Nagai¹
(¹ National Institute of Agrobiological Sciences, ² Prime Tech Ltd., ³ Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, ⁴ University of West-Hungary, Hungary)

第3日目 9月15日(日)

口頭発表

第I会場 8:30 ~ 10:00 演題番号 IB-5 ~ IB-13

- 8:30 ~ 9:00 胚発生・胎盤 座長：福田芳詔（北里大・獣畜）
- IB-5 ヤギ培養トロフォブラスト細胞株 HTS-1 を用いた着床期トロフォブラスト浸潤能に対するニコチンの影響の解析
松尾 力¹, 西橋邦佳², 今井美沙², 目黒英男¹, 宮崎晴子³, 平山妙子³, 佐分作久良⁴, 舘 澄江⁵, 舘 鄰^{1,6}
(¹麻布大,²東大院農,³理研,⁴群大生調研,⁵女医大,⁶三菱生命研)
- IB-6 ウシ胎盤由来間葉系細胞の分離と特性
山内伸彦, 今井 敬, 橋爪一善 (独法・農業生物資源研究所 発生分化研究グループ 生殖再生チーム)
- IB-7 体外成熟由来ブタ単為発生胚の細胞質脂肪顆粒除去とその胚発生への影響
黒目麻由子, 若生直浩, 落合 崇, 上田英登, 長嶋比呂志 (明大農)
- 9:00 ~ 9:30 胚の凍結保存 座長：佐々田比呂志 (東大院・農)
- IB-8 ブタ体外成熟由来単為発生胚のガラス化保存後の生存性について
江崎律子¹, 山下千尋¹, 吉岡裕輝^{1,2}, 牛島 仁³, 桑山正成⁴, 長嶋比呂志¹
(¹明大農,²現 国立遺伝研,³千葉県畜セ,⁴加藤レディースクリニック)
- IB-9 ブタ桑実胚のガラス化保存における細胞質内脂肪顆粒除去の効果
牛島 仁, 吉岡裕樹^{1,2}, 江崎律子¹, 高橋圭二, 中根 崇, 桑山正成³, 長嶋比呂志¹
(千葉県畜セ,¹明大農,²現 国立遺伝研,³加藤レディースクリニック)
- IB-10 水チャンネルの人為的発現によるゼブラフィッシュ胚の水と耐凍剤に対する透過性の向上
関 信輔, 山地洋平, Valdez Delgado Jr., 枝重圭祐, 葛西孫三郎 (高知大農)
- 9:30 ~ 10:00 ブタ精子 座長：宮野 隆 (神戸大・農)
- IB-11 カフェインおよび受精促進ペプチド存在下での豚新鮮射出精子の NO 産生
舟橋弘晃 (岡山大院自)
- IB-12 CAMP 依存性の頭部間凝集反応を示すブタ精子の生存性およびタンパク質チロシリン酸化状態
原山 洋¹, 佐々木清美² (¹神戸大院・自然,²神戸大・農)
- IB-13 受精能獲得におけるブタ精漿リラキシン様蛋白質の作用機序：2. ブタ精子細胞膜コレステロールの放出
高坂哲也, 田辺宏基, 佐々田比呂志¹, 渡辺伸也², 佐藤英明¹, 番場公雄 (静岡大農,¹東大院農,²農水省技会)

第II会場 8:30 ~ 9:30 演題番号 IIB-5 ~ IIB-10

- 8:30 ~ 9:00 内分泌 座長：梅津元昭 (宇都宮大・農)
- IIB-5 低濃度のプロゲステロン投与がシバヤギの黄体形成ホルモン (LH) パルスとサージ状分泌に及ぼす影響
金 昇準, 田中知己, 加茂前秀夫 (農工大・獣医)
- IIB-6 Film in situ zymography によるウシ胞状卵胞におけるプロテアーゼの動態とその特性の検索
今井 敬, 高橋 透, 橋爪一善 (農業生物資源研究所)
- IIB-7 GnRH 遺伝子欠損雄マウスにおけるアクチビンおよびPMSGの生殖系への作用
星 信彦, 金子哲人, 風見 清, 割田克彦, 橋本 統, 長谷川喜久 (北里大・獣医)
- 9:00 ~ 9:30 ステロイドホルモン 座長：前多敬一郎 (名大・農)
- IIB-8 ウシ卵胞内コルチゾールは卵胞のアンドロジェン・エストロジェン合成に影響を与えない
手塚雅文, 鹿内亜希野, 林田典子, Tomas J Acosta, 林 憲悟, 林 美里, 宮本明夫 (帯畜大)
- IIB-9 Diethylstilbestrol 曝露によるマウス子宮ステロイドホルモン受容体発現の定量的 RT-PCR 法を用いた解析
森田真紀, 杉本実紀, 田中宇子, 今西 哲, 西沢華子, 瀬崎恵一, 岩堀みね子, 眞鍋 昇, 宮本 元
(京大院農・生体機構)

- IIB-10 雄性マウス生殖器系の *In vivo* ³¹P-NMR スペクトルに対する diethylstilbestrol 投与の影響
杉本実紀, 眞鍋 昇, 森田眞紀, 瀬崎恵一, 今西 哲, 田中宇子, 西沢華子, 岩堀みね子, 宮本 元
(京大院農・生体機構学)

第 III 会場 8:30 ~ 10:00 演題番号 IIB-9 ~ IIB-17

- 8:30 ~ 9:10 分娩後の機能回復 座長: 中田 健 (酪農大・獣)
- IIB-9 分娩後早期のシバヤギにおける CIDR 留置後の低単位量 hCG 投与による妊娠可能な発情の誘起促進効果
川手憲俊¹, 山崎美恵¹, 玉田尋通¹, 稲葉俊夫², 澤田 勉¹ (¹大阪府大・獣医繁殖, ²大阪府大・細胞病態)
- IIB-10 乳牛の分娩後の卵巣機能回復状況と血液生化学性状との関係
大滝忠利, 草刈直仁, 二階堂聡, 遠谷良樹 (道立根釧農試)
- IIB-11 超音波画像検査による乳牛の分娩後における子宮修復の検討
齋藤康倫^{1,2}, 加茂前秀夫¹, 田中知己¹, 金田義宏¹ (¹農工大, ²千葉 NOSAI 連)
- IIB-12 Effect of Delayed Resumption of Ovarian Cyclicity Postpartum on Subsequent Reproductive Performance in High-producing Holstein Cows, and Factors Affecting Delayed Resumption of Ovarian Cyclicity Postpartum
ヘマンタ クマル シレスタ, 中尾敏彦, 鈴木俊彦¹, 檜垣恒夫¹, 秋田真司¹ (広大院国際協力, ¹農済広島)
- 9:10 ~ 10:00 内分泌動態・精子 座長: 佐藤邦忠 (帯畜大)
- IIB-13 PGF_{2α} 投与後 48 時間以内に排卵がみられた乳牛の血中 LH 濃度の変化
川上カレン, 山手健輔, 渡辺裕子, 金 昇準, 田中知己, 加茂前秀夫 (東京農工大・農)
- IIB-14 発情周期を回帰するシバヤギにおける外因性プロゲステロンおよびエストロジオール投与に対する卵巣の反応
澤井理恵, 熊井良子, 石井雅之, 金 昇準, 田中知己, 加茂前秀夫 (東京農工大・農)
- IIB-15 異なる発情周期におけるウシ黄体の組織 - 内分泌学的検索
渡邊洋平, 上村俊一, 浜名克己 (鹿大獣医)
- IIB-16 サラブレッド種雄馬の繁殖季節の精子形態, 精子奇形率および未熟精子出現率の変化
林 政治, 北尾壮吉, 西山雅章, 工藤千春, 角田修男¹, 中田 健, 森好政晴, 澤向 豊
(酪農大獣医, ¹社台コ - ボレ - ション)
- IIB-17 リポートブリーダーの不孕原因としての子宮内膜上皮成長因子濃度変化異常の意義
片桐成二, 高橋芳幸 (北大獣医)

総会のご案内

下記のとおり2002年度日本繁殖生物学会総会を開催いたします。総会が成立するためには総正会員の1/10以上の出席が必要ですので、万障お繰り合わせのうえぜひともご出席賜りますようお願いいたします。
やむを得ずご都合がつかせぬ折は、本号に綴じ込みます委任状に署名捺印のうえ、9月2日(月)までに事務局宛お送りください。

2002年度日本繁殖生物学会総会

1. 期 日 2002年9月15日(日) 13:00 ~ 17:00
2. 会 場 岩手大学農学部・第3会場
3. 議 事
 1. 開会の辞
 2. 理事長挨拶
 3. 議長指名
 4. 議事録署名人の選出
 5. 報告
 6. 議題
 - 1) 2001年度事業報告および収支決算書の承認の件
 - 2) 2002年度事業計画案および収支予算書案の承認の件
 - 3) 2003年度収支予算試案の承認の件
 - 4) 2004年度会長の選出の件
 - 5) 2003年度日本繁殖生物学会賞選考の承認の件
 - 6) 来期(2003~2005年度)役員および評議員等選出の件
 - 7) その他
 7. 名誉会員の推戴
 8. 2002年度日本繁殖生物学会賞受授与
 - 学術賞 本田 和正 会員(福井医科大学)
「ラットにおける下垂体後葉ホルモンの分泌調節機能に関する研究」
 - 学術賞 高坂 哲也 会員(静岡大学農学部)
「繁殖生理学におけるリラキシンの意義とその応用に関する研究」
 - 学術賞 保地 眞一 会員(信州大学繊維学部)
「ウシならびにウマにおける卵子・胚の凍結保存に関する研究」
 - 技術賞 西貝 正彦 会員((有)那須ET研究所)
「栃木県における黒毛和種凍結胚移植技術の開発と普及」
 9. 2002年日本繁殖生物学会賞受賞者講演
 10. 次期(2003年度)会長挨拶
 11. 閉会の辞